

第20回長崎国際大学 学位授与式

令和5年3月11日 於：本学体育館

“コロナ禍とウクライナ危機 春寒し”

本日第20回の卒業式を迎えましたが、コロナ禍のためにご来賓のご臨席がありません。この四年間、コロナにより学校行事の縮小や中止、又、授業もオンラインで行うこともあり、皆さんが夢見た大学生活とは多少違った学生生活であったことでしょう。しかし今旅立つ424名の卒業生の皆さんの輝く瞳に出会い、私も勇気をもらいます。

振り返れば昨今、コロナ、ウクライナ紛争、地方では人口の減少でいたるところに限界集落の出現、地球温暖化、又、2月6日のトルコ・シリアの大地震では5万人を超える死者も出ています。加えて、本日は12年前の東日本大震災の日、1万6千人が亡くなり、2500人が今もなお行方不明。避難者は今も3万1千人に上る悲しみでした。

ともすれば気持ちが減入ってしまいますが、しかし皆さんの旅立ちには前途洋々であり、素晴らしい未来が待っています。だからこそ可能性を信じて出発して欲しいものです。

私がいつも一人でめげそうな時、アメリカの思想家エルバード・ハバードの言葉を口ずさみます。はなむけの言葉として送ります。

「家から出るときはいつでも顎を引いて、頭をまっすぐに立てできる限り大きく呼吸をすること、日光を吸い込むのだ。友人には笑顔をもって接し、握手には力を込める。誤解される心配などはせず、敵のことに心を煩わせない。やりたいことをしっかりと心の中で決める。そしてまっすぐに目標に向かって突進する。大きな素晴らしいことをやり遂げたいと考え、それを絶えず念頭に置く。すると月日の経つに従っていつの間にか念願を達成するに必要な機会が自分の手の中に握られていることに気が付くだろう。あたかも珊瑚虫が潮流から養分を摂取するようなものである。また有能で真面目で他人の役に立つ人物になる事を心掛け、それを常に忘れないでいる、すると日の経つにしたがってそのような人物になっていく。心の動きは絶妙なものである、正しい精神状態、すなわち勇気、率直、明朗さを常に持ち続けること。正しい精神状態は優れた創造力を備えている。全ての物事は願望から生まれ、心からの願いは全て叶えられる。人間は心がけ通りになるものである」

どうぞ夢をもってチャレンジして下さい。この4月は皆さんの先輩、ともにこのキャンパスで学んだ橋之口議員が佐世保市長選に出られます。やればできます。

元気で新たな社会へのスタートを祈っております。

学校法人九州文化学園 理事長 安部直樹